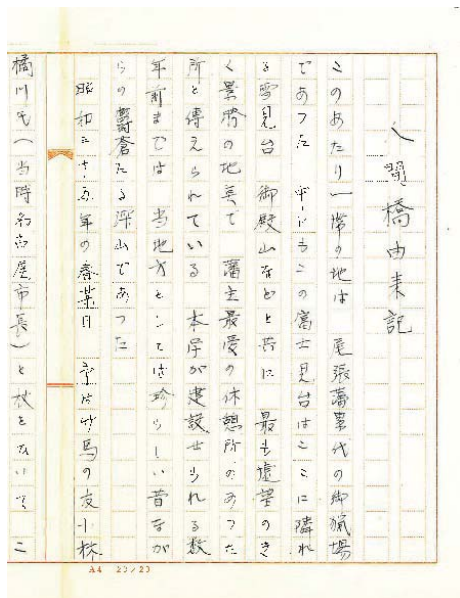


歴史文化館ニュース 第11号

2014. 7. 11

「相山女学園創設者・相山正式没後50年展・その“人”の生きた道」から

相山歴史文化館館長 相山 美恵子



「没後50年展」は、学園創設者相山正式先生の命日（2月18日）を中心に約半年間、この6月末まで開催し、多くの方々に見学していただきました。展示の中で最も注目されたのは、本学園の教育理念「人間になろう」のまさにその発端となった、正式先生の「人間橋由来記」の自筆原稿でした。この原稿は今回初公開であり、これまでたくさんの手稿メモの中に埋もれていたもので、当館の運営メンバーにとっても貴重な“発見”となった資料でした。

また正式・今子先生を直接知る方々から寄せられた「思い出」の文は、お二人の人となりを紹介する貴重な資料となりました。今後も大切に当館に保存し活用していきたいと考えています。

展示の最後の掲示版には見学の皆様から多くの「感想・ご意見」を戴きました。その中からいくつかをご紹介します。今回の展示は創設者について皆さんに改めて何かを感じていただける機会となったのではないかと思います。

A. 展示をみせていただくうちに、心は中学生・高校生時代に振り返りました。毎週火曜日（多分）の朝礼の時間にゆったりとした歩みで壇上に進み出てこられた先生のお姿が思い出されます。懐かしい意義深いものを見させていただきました。

B. 正式先生の「人間橋由来記」の自筆原稿を実際に目にして、正式先生を身近に感じると共に、「人間になろう」という言葉はここから生まれたのだなあとしみじみ感じました。現在の相山女学園の教育理念が生まれた背景をかいま見たような気持ちになって、感慨深く思います。

C. とても勉強熱心な方であることがよく分かりました。その勉強に対する熱い思いでこのような学園を創設され私たちはいま学ぶことができます。それは奇跡的なことであると思います。もっと一生懸命に、先生のように勉学に励み、専門的な知識をしっかりと身に付け、立派な教員になりたいと思います。

D. 昭和12年に相山女子専門学校附属高等女学校に入学。その年から日中戦争が始まり戦時体制の学園生活を送りました。懐かしい先生方や学んだ校舎、正式先生の写真などを拝見でき、嬉しく思いました。

E. いろいろな方の思い出話を通して正式先生の姿が紹介されていることがよかったです。ご自身の手記や言葉だけでは伝わらない人間像が見えるように思います。正式先生の日記に新聞の切り抜きを貼ってある感覚が現代の Blog や Facebook で関心のある情報をシェアしているようで面白かった。



【前畑秀子 生誕100年展の準備が進んでいます】

今年は、日本女性初のオリンピック金メダリストであり、梶山女子専門学校の卒業生でもある前畑秀子（結婚後、兵藤姓となるが、ここでは前畑姓で統一）さんの生誕100年に当たります。

梶山歴史文化館では、偉業をなした梶山女学園の卒業生に新たな光をあて、その生き方を学ぶ機会として、今年の10月から「前畑秀子生誕100年展」を開催します。その準備段階のプロセスの一端をご紹介します。



① 「前畑秀子生誕100年展」は三館同時開催

前畑秀子さんの出身地である和歌山県橋本市では、昨年の市議会で前畑秀子100年について、市としての市政方針が取り上げられました。梶山歴史文化館としては、橋本まちかど博物館、橋本市郷土資料館の三館で同時開催することとしました。

「橋本まちかど博物館」・・・今年の4月より、梶山歴史文化館で撮影された資料の写真パネルを中心に展示。4/19和歌山放送ニュース、4/25 朝日新聞和歌山版、4/25 橋本新聞で紹介されました。

「橋本市郷土資料館」・・・橋本市教育委員会を中心に、前畑秀子関係資料の展示が行われるほか、7月末には市民プールでの行事が開催され、梶山女学園中学・高等学校の水泳部も行事に参加します。

② 橋本市へ調査

梶山歴史文化館の企画展として行うにあたり、橋本市にどのような資料が残されているのか、その資料の活用も含めて調査するため、4月22日（火）に当館のワーキングメンバー2名が橋本市へ出張しました。最初に橋本市の平木市長を表敬訪問し、梶山歴史文化館で10月から開催する「前畑秀子生誕100年展」についてご案内しました。

続いて、橋本まちかど博物館では、前畑秀子さんのご家族関係資料や本人の幼少期の資料を、さらに、橋本市郷土資料館では、前畑秀子さんの資料展示コーナーを視察しました。

③ 中日新聞の取材 6月4日（水）の夕刊に、前畑秀子展準備の記事が掲載されました。



④ 兵藤家への訪問

前畑秀子さんが晩年を過ごされたご長男宅に、5月22日（木）梶山歴史文化館長等3名で訪問しました。

ご長男の兵藤正臣さんから前畑秀子さんに関する貴重な資料を数多くご寄贈いただきました。

⑤ 「100年」に向けて来館された人々

前畑秀子さんに関する資料の調査などで、来館者や問い合わせが多くあります。

資料調査では、橋本まちかど博物館、橋本市郷土資料館、橋本市教育委員会から来館。資料提供に協力しました。

資料寄贈では、梶山女子専門学校附属高等女学校水泳部で活躍され、前畑秀子さんと寝食を共にされた中川佐和子さんが来館され貴重な資料を寄贈されました。また、上記中日新聞記事を見られた近藤善子さんご夫婦が来館され、前畑秀子さんに関連した写真を寄贈されました。

資料の借用では、前畑秀子さんのご次男（ご逝去）の奥様である兵藤尚子さんご子息の兵藤大二郎さん来館され、貴重な資料を借用することができました。

電話では、和歌山県広報課より、和歌山県総合情報誌「和-nagomi-」に掲載する前畑秀子さんの写真データの提供を求める件がありました。

前畑秀子生誕100年展—その生涯から学ぶ—

開催期間：2014年10月3日－2015年5月29日

会 場：橿山歴史文化館文化展示室（大学中央図書館4階）

休館日（冬期休暇）：2014年12月23日－2015年1月5日



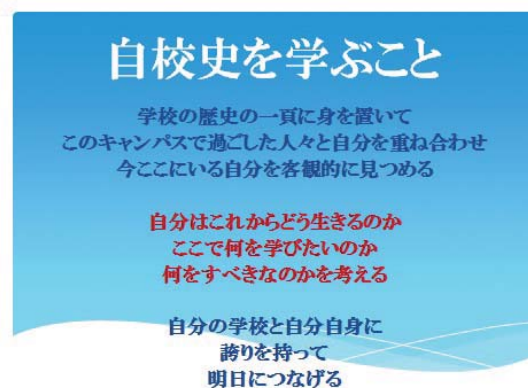
前畑秀子さんは、大正3年（1914）和歌山県伊都郡橋本町（現橋本市）に生まれ、小学生の時から水泳を始め水泳選手としての頭角を表し数々の水泳競技の記録保持者となりました。昭和4年（1929）、ハワイで開催された汎太平洋女子オリンピック大会では金メダル及び銀メダルを獲得しています。昭和4年（1929）橿山第二高等女学校（現山添キャンパス）に編入学し、当時は珍しかった同校の室内プールで練習を重ね、昭和7年（1932）第10回国際オリンピック大会（ロサンゼルスオリンピック）で、女子水泳200m平泳ぎで銀メダルを獲得し、昭和11年（1936）第11回国際オリンピック大会（ベルリンオリンピック）で、同競技において金メダルを獲得しています。

その後、結婚されますが、早くにご主人を亡くされ、昭和35年（1960）から橿山女学園（山添キャンパス）の医務室兼水泳コーチとして約13年間勤務される一方、後進の指導も積極的に行われました。脳梗塞で倒れた後リハビリを行い、水泳指導を再開されます。昭和62年（1987）には勲三等瑞宝章を受章され、平成7年（1995）に80歳で逝去されました。

【「自校史教育」が広がっています】

近年、多くの大学で「自校史教育」が取り入れられるようになってきています。「自校史教育」は、学校の歴史、建学の精神、創設者など、自分達の通う学校の特色について学ぶ授業のことです。

歴史文化館では自校史教育の一環として、橿山歴史文化館ツアーを行い、学生に「橿山女学園で学ぶことの意義」について考えてもらう機会を作っています。今年は中学校でも、橿山歴史文化館長の講演という形で自校史を学ぶ時間が設けられました。実際に授業を受けた中学校1年生の生徒からは、以下のような感想が寄せられました。



A. 私は今日、橿山の歴史の説明を聞いて一番おどろいたことは金剛鍾についてです。なぜなら、今日までも残っている金剛鍾は大きな戦争をのりこえて今でもたっていることが本当にすごいと思ったからです。そんな、歴史深い橿山女学園中学校をこれからも大切にしていきたいと思います。

B. 毎日何気なく生活していたことが、いろいろな人達によって出来ていることを感じながら生活していけたらいいなと思います。

C. 橿山は、すごく長い歴史を積み重ねてきたことがほこりに思えた。嬉しい。そして、自分達はその「ほこり」を胸にこれから来る後輩さんにあこがられるような先輩になりたいと思った。今まで頑張ってきた先輩達の名、橿山という名を汚さないよう、自分達も努力したいと思った。橿山に通えることになってよかったと思う。頑張ろう！

【歴史文化館ガイドが新しくなりました！】

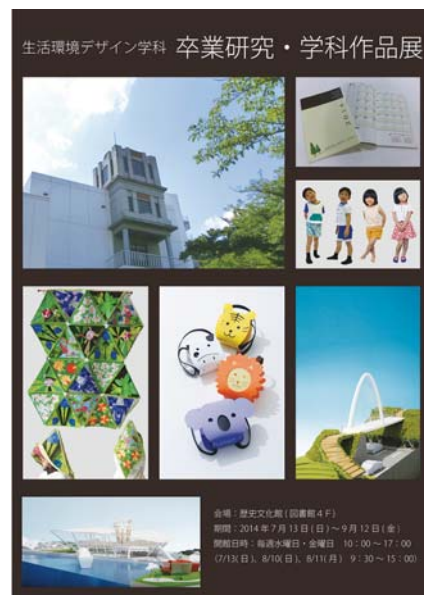


『梶山歴史文化館・館内ガイド』が今年度より新しく生まれ変わりました。新しい『館内ガイド』は、これまでのガイドより更に詳しい内容を加え、梶山女学園の歴史を知る小冊子として読んでいただけるように編集しました。写真はカラー写真になり、サイズも少し大きくなったことで、より分かりやすく読みやすいものになっています。梶山歴史文化館に来館された際は、ぜひ改定された『館内ガイド』を手にとってご覧ください。

【生活環境デザイン展を開催します！】

(期間：2014年7月13日～9月12日)

今年も生活科学部生活環境デザイン学科の卒業研究・卒業制作の展示を、梶山歴史文化館の文化展示室で行います。2013年度卒業生の研究や制作物の中から、アパレルメディア分野・インテリアプロダクト分野・建築住居分野の各分野で特に優れたものを展示しています。梶山女学園大学で学んだ4年間の集大成である、論文、設計、制作、企画といったバラエティーに富んだ成果を、是非この機会にご覧ください。



【寄贈品紹介】



- 小学校修学旅行写真 ○梶山女子大学附属小学校卒業の思い出
- 卒業文集（以上、池田寿子氏寄贈）
- 日誌（小学校4年生）、English（教材）（松下万里子氏寄贈）
- 梶泳年鑑5冊（1957年～1961年）
- 書籍「日本女子水泳のパイオニア」／編集工房i s／2014年（以上、中川佐和子氏寄贈）
- 橋本まちかど博物館館蔵品目録第1巻／橋本市まちの歴史資料保存会／2007年（古西義麿氏寄贈）
- 前畑秀子関係資料132点（兵藤正臣氏寄贈）
- 前畑秀子関係写真14点（近藤善子氏寄贈）

【編集後記】

2016年から山の日として施行される8月11日は、ベルリンオリンピック実況にて河西アナウンサーが「前畑ガンバレ」を連呼したことから、ガンバレの日とも呼ばれます。10月からの企画展を通して多くの方に前畑さんについて知っていただけたらと思います。

歴史文化館ニュース 第11号

発行日 2014年（平成26年）7月11日

編集・発行 梶山歴史文化館

名古屋市千種区星が丘元町17番3号

TEL 052(781)1186(代)

052(781)4590(直)

編集担当者 梶山美恵子 村瀬輝恭 大喜多優香